

南区 地域情報発信

南区の宝となるモノや話題、地域で活躍している方をピックアップ!

地域の取り組み紹介 ①

みんなが集う場所だから、みんなで作作り!

～庄瀬地域生活センターのロビーをDIYで改装～



庄瀬地域生活センターは地域の中間地点に位置し、郵便局と農協出荷場に隣接、また1と6のつく日に開かれる「市」からも徒歩数分というロケーションにもかかわらず利用者が減る一方でした。皆さんが寄りたくなるような居心地のよい場所に改装しようと20代～40代の若い世代を中心に「庄瀬まちづくりネットワーク」を立ち上げ、アイデアを出し合い、休日に集まってDIY作業にて改装を進めてきました。現在は一部制作途中ですが檜のフローリングの北欧調リビングに生まれ変わり、フリースペースとして開放しています。白根図書館より100冊の書籍を借りて毎月入れ替え、その他にも地区内外からご寄付頂いた本やDVDがあり閲覧自由となっております。

平成30年度からはこの場所を更に有効利用し、趣味・食・健康・教育・防災などあらゆる分野の講座やワークショップ、イベント等を開催しつつ、地域の茶の間として世代や地域を越えた交流に取り組みます。地域の皆さんが安心して楽しく暮らせるための情報交換や助け合いの窓口となることを願っています。

イベントスケジュールは各地域生活センターに配布し、また庄瀬地域生活センターのFacebookでも告知します。庄瀬地域外の皆様もぜひお気軽にお寄り下さい。

庄瀬地域生活センターFacebook <https://ja-jp.facebook.com/syouzecomunity/>



◀ Before
改装前のロビー

After
明るく温かみのある
北欧調リビングに



DIY作業中の様子



お揃いの絵本棚と
おままごとキッチンは全て手作り



課外授業の様子



地域の方にインタビュー



現在立っている玄竜寺の標柱



玄竜寺にて

地域の取り組み紹介 ②

地元小学生と連携で作成 ～史跡紹介看板の設置とまち歩き～



コミュニティ茨曾根では「茨曾根の魅力再発見」をテーマに事業を進めています。茨曾根には地区内の各所に古くから語り継がれている「昔がたり」がありますが、語り手も少なくなってしまうこの「眠っている宝」の価値を再度掘り起し、各所に歴史案内看板を新しく20本程度設置して地域内外の方々により茨曾根を知ってもらおうと取り組んでいます。

今年度は案内看板の大きさ・材質・デザインの考案を進め、茨曾根小学校の子どもたちとも地域と一緒に看板作りをしようと協力して事業を進めてきました。4年生の総合学習では各所の歴史について学び、実際に課外授業で地域の詳しい方に話を聞いたり、グループにわかれ自主的に調べたりと、積極的に取り組んできました。その成果として、多数候補がある看板設置場所の選定についても一緒に行い、子どもたちの絵を案内看板に取り入れようとして準備しています。完成、設置まであと少しのところですよ。

案内看板設置後の活用については、小学校の授業に生かすのはもちろんですが、茨曾根名物の桃や梨の花の見頃の時期に、歴史探訪ウォーキングを実施したいと考えています。それに向け、地域の歴史ボランティアガイドを養成し歴史探訪ウォーキングの際に一緒に案内してもらおうといった活動も視野に入れています。今年度は町屋を活用したまちづくりに取り組んでいる小須戸地区への視察や、白根大風タウンガイドのまちあるきボランティアガイド養成講座へも参加し、活動のアイデアを得ることができました。今後を活かし、事業に取り組んでいきたいと考えています。